



<学校教育目標> こころざしを持って 未来を拓く子供

◆◆◆みんなでがんばる合い言葉◆◆◆

- か 考えを伝え合う(知)
- み みんなで力を合わせる(絆)
- い いい言葉・いい姿勢(徳)
- で できるまで挑戦する(体)

全校児童数 77名
PTA会員数 60世帯

「自分を守り、目標を実現する力を鍛えよう！」

校長 稲葉 浩

先日は猛烈な寒気が上井出にも訪れ、富士山の雪化粧もさらに美しくなっていました。学校では、学習面でのまとめと運動面・精神面でも鍛錬の時期となっています。先日行われた地区防災訓練への参加、縦割り駅伝大会へのご協力・応援ありがとうございました。子供たちの最後まで挑戦する力の向上を感じました。

12月の朝礼では以下のような話をしました。

今月の絵は、今が旬の柚子です。みなさんは柚子を知っていますよね。柚子にはどんな特徴がありますか。

黄色くて、表面が少しぶつぶつしている。いい香りがする。ポン酢などに使われている。冬至には、お風呂に入れて柚子湯にする。今年の冬至は12月22日(日)です。是非、体験してみてください。このようにとっても役に立つ果実です。でも、もっと他にも特徴があるんです。それは、大きくて鋭いトゲがあることです。薔薇なんかよりも長くて鋭いトゲです。柚子には何でトゲがあるんでしょう。

それは、柚子は緑色の実が付いてから黄色く熟すまで5ヶ月ほどかかります。柚子は動いたり、攻撃したりできませんからその間に、鳥などの外敵に食べられてしまわないように身を守るためにあるのだといわれています。

では、人間の場合はどうでしょうか。柚子とは違って動けるからトゲなどはいらないのかな。しかし、これからの時代は予測不能でより厳しい時代になるといわれています。それに立ち向かうためには何かが必要だと思いませんか。トゲでしょうか。誰かが近付いてきたらトゲが刺さる。そうすれば攻撃されなくなりますよね。でも相手にもされなくなります。

これからの時代には、いろんな人とのコミュニケーションが大切になると言われています。そのためには豊富な知識や考える力がないといけません。また、いろんな国の人と話すための英語力も必要になります。そして、どこでも生きていける体力・気力も必要になってきます。

6年生がフジアザミ学習で職業について学んでいます。自分の将来についても学びを深め、目標となる職業も決まってきたようです。目指す職業に就くためにも自分の目標を実現するための力が必要です。授業にきちんと参加して、確実に知識を身に付ける。また、授業での発表や外部での発表会などで、伝える力・コミュニケーション力を高める。そして、縦割り駅伝や長縄跳び、休み時間での遊び、自主トレーニングなどで体力とやる気を鍛える。それらが、柚子のトゲの代わりになり、みなさん自身を守り、目標を実現するための頼もしい力になると思います。

目標を持っていろんなことに頑張って取り組みましょう！



なぜ、たてわり駅伝なのか？

たてわり駅伝は12月3日に実施されました。大勢の皆様にあたたかく応援をいただきながら無事に終わることができました。大会当日はもちろん、試走の段階から多くのボランティアの皆様にご協力いただきました。ありがとうございました。

さて、ご協力いただいた方から「たてわり駅伝は何でたてわりで、駅伝なんですか？ マラソン大会ではないのですか？」とご質問をいただきました。本校でも、かつてはマラソン大会でした。上井出グラウンドや体育館周辺にも走路を作り、学年毎に決められた距離を走りました。そんな中で、「見ているだけだと寒い」、「速い子が早々にゴールして、遅い子はいいやや走って遅れてゴールするだけ」との声が聞かれ、当時の職員で知恵を出し合ってこの形になったと聞いています。工夫した点は、



出発前の円陣 「絶対勝つぞ！」

- ①競技時間全体は1時間で終わるようにし、振り返りの時間をしっかりとる。
- ②自分の力量に応じて挑戦できるようにするため、事前の1000m走や持久力を試す記録を元に、学年に関係なく走る距離を設定する。距離は国の指針に基づき、800m～1200mとする。
- ③試走を2回行い、合計3回走ることによって、自己記録を更新することに意欲的になるようにする。
- ④速くても、遅くても全力で走り、その頑張る姿を全校で応援できるようにチームを作る。

走ることが苦手な子にとってはとてもつらい競技です。しかし、大勢の仲間が応援してくれることで一生懸命走ることができました。走り終わった後の振り返りでは、チームの記録と共に、自分も記録を更新できたか、心待ちにしている様子が見て取れました。みんなが自分に挑戦したとてもいい一日となりました。これまでのご支援ありがとうございました。

「いじめ」を考える

西富士中学区の小5・6年、中1年生

西富士中学校区の小学5・6年生と中学生が一堂に会して、いじめについて考えました。まず、実態調査アンケートの結果をスライドで確認し、スクールカウンセラーの遠藤先生から「自分も他人も大切にするコミュニケーション」の講演を聴講しました。続いて白糸小や人穴小の児童、西富士中の1年生と1つのグループになり、「友達に嫌なことを言われたらどうするか」「偏見のある一言を言われたらどうするか」をテーマに話し合いました。「相手の心を考えた発言ができるようになること」や、「言われてもそれにとらわれない考え方をすること」が大切という具体的なスキルを身に付けることができました。やがては同じ学校で学ぶ児童が交流し、コミュニケーション能力を高めることで、中1ギャップ解消につなげる取組の一つとして行いました。今後は学んだことを校内に発信していきます。



講演に耳を傾ける児童

12月	10	火	思春期講座 6年	1月	6	月	3学期始業式 11:15下校
	13	金	普5日課 14:30下校		7	火	特4 11:40下校
	14	土	歳末ふれあい訪問		8	水	給食開始
	15	日	北部地区富士学合同発表会		9	木	定着度調査
	16	月	普4日課 13:15下校(～20日)		14	火	ノーメディアデー
	18	水	面談(～20日)		18	土	授業参観 (週休振替20日)
	23	月	終業式 11:15下校		23	木	西富士中入学説明会



